



門真四中だより

「つながる」「わかる」「切り拓く」

令和4(2022)年10月22日

第41号

編集・発行：校長 上甲 尚

小中一貫校（義務教育学校）の開校に向けて

～四中、砂子小、脇田小の教職員でワークショップを行いました～



令和8(2026)年4月に四中校区に開校予定の小中一貫校（義務教育学校）の準備が着実に進んでいます。9月には新しい学校の「校名」を募集したところ、四中からは39人の応募がありました（私も応募しました）。これから段階を踏んで決まりますので、楽しみにしてください。

今後は校章（校旗）、校歌、制服なども、いろんな意見を集約しながら順を追って決めていくこととなります。これまでも門真市教育委員会、各校の代表者（教職員、PTA役員）、地域の代表の方などが何度も集まって話し合いを重ねてきました。

そして一昨日（19日）の放課後、四中、砂子小、脇田小の全教職員が市民プラザに集まり、「ワークショップ」を行いました。8月24日に続いて2回目の「ワークショップ」になります。

まず、教育委員会の担当の方から「小中一貫校をこんな学校にしていきたい」というコンセプト（概念）の説明があった後、設計業者の方から新しい校舎のデザイン案を示してもらい、教室配置などの詳しい説明がありました。新校舎は脇田小の校舎の跡地に建ちます。模造紙に図面がカラー印刷されており、イメージしやすいデザイン画を見せてもらいました。それを受けて10のグループに分かれて、3校の先生方がわいわい意見を出し合いながら、「こんな教室がほしいな」「この教室は○階の方がいいのでは？」「こんなスペースがあればいいな」「この教室はどうやって使うの？」など、ざっくばらんに話し合いをしました。

門真市で初めての小中一貫校（義務教育学校）です。そこに通う児童・生徒がワクワクするような学校にしていきたいし、地域の方々が誇りに思えるような、門真のシンボルマークになるような学校にしていきたいと思っています。そのためにはハード面（施設・設備）とソフト面（教育内容など）の両方が大切です。残念ながら皆さんは新しい学校に通学することはできませんが、先輩や妹、弟たちのために知恵と力を貸してくださいね。よろしくをお願いします。

※ワークショップ…一方的に講義を聴くのではなく、参加者が主体的に参加し、参加者同士の意見に耳を傾けることで、幅広い層の考えに触れることができます。

砂子小、脇田小と合同あいさつ運動



〈砂子小の校門前で（生徒会執行部1年生）〉



〈脇田小の校門前で（生徒会執行部2年生）〉

今週の月曜日から金曜日までの5日間、生徒会執行部の人たちが1年生、2年生に分かれて砂子小、脇田小に交互に出向き、校門前で朝の合同あいさつ運動を行いました。

集団登校してくる児童の皆さんや地域の方に小学校の先生方と一緒に「おはようございます!」と声をかけました。小学生は少し驚いた表情をする子もいましたが、笑顔で「おはようございます」とあいさつしてくれる子が多かったです。小中一貫校の開校に向け、先生方だけでなく、児童・生徒同士も校区の小学校との連携を深め、四中校区のさらなる発展に努めていきたいと思えます。生徒会執行部の皆さん、朝早くからお疲れ様でした。ありがとう。

文化発表会の取り組み進む

来週に迫った「文化発表会」の取り組みが進んでいます。1年生はジャンル別の発表、2・3年生は合唱に取り組んでいます。仕上がりはいかがですか。今日の5・6時間目は2年生がリハーサルを行いました。1年生は来週の月曜日、3年生は火曜日にリハーサルを行い、本番の日を迎えます。

クラスや同学年の仲間と力を合わせて「ひとつの作品」をつくり上げる営みは、人の心を豊かに成長させます。これはとても貴重な経験であり、数字では表せない大切な力になります。学校でしか経験できないものともいえます。去年はコロナ禍とスケジュールの関係で、文化発表会（文化祭）は開催できなかったのが、今から本番が楽しみです。四中生のパワーを発揮してください。3年生にとっては、最後の大きな学校行事になります。いい思い出になるよう、精一杯頑張ってくださいね。

保護者の皆さまへ ～オープンスクールにお越しください～

平素は本校の教育活動に対し、ご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、今週月曜日からオープンスクールを実施しております。来週の金曜日（28日）まで実施しますので、どうぞお気軽に子どもたちの様子をご覧にお越しください。なお、来校される場合は、事前に登録をお済ませください。先日、マチコミでも登録方法をお知らせしましたので、ご確認ください。